

令和4年度 第6回 理事会議事録

日時：令和4年10月25日（火）19:00～20:30

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、北山、井村
渡辺、鮎川、菊池、古屋、鈴木、大西、
平賀(篤)、有泉

(部長) 小林(泰)、丸茂、平賀(満)、秋山

書記：笹本

会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数150

会員数964名（施設899名 自宅65名）

磯野会長より挨拶

10月9日(日)に組織運営委員会で全国の士会長と協会と会議を行った。小川先生からの報告として、選挙前にリハビリテーションの小委員会を立ち上げて、骨太の方針にリハビリテーションという文字を載せることが出来た。骨太の方針は実施しないといけない内容であり成果は大きい。私達の身分や点数を考えると法に訴えていくしかない。そのためには政治活動は大事になってくる。また、来年度の協会の重点事業・組織運営が出てきたので、資料を参照して欲しい。

上半期が終わった。年間に計画された事業が実施できるように事業運営のご協力をお願いしたい。

I. 審議事項（全7題）

1. 2022年度中間監査資料について：事務管理局

内容について、三役は参院選で多くの活動を行ったが「参院議員選挙対応：適時」という形でまとめて報告をしている。交流会は未定。各委員会の報告は、委員長以外が参加した場合に参加者名を記入している。

確認、修正内容

- ・報告した結果「広報局大西局長の所属名の修正」
「認知症対策委員会の会議の参加者名が未記入のため追記」「がんリハビリテーション推進委員会会議の確認で、10月に実施した」「関プロ学会運営検討委員会の確認で現在出席は無し」「介護機器普及事業運営協議会は来週実施となる」「臨床実習指導者協議会は、1回7月11日(月)18:30～19:30にWEB開催で実施した」「土曜日学習会の題名を追記」以上の確認・修正点があり。

結論

- ・他に未記入、変更がある場合は、今週中に有泉局長へ伝える。修正が完了次第、各局長へ配布する。

2. ZOOMの運用について：事務管理局

現在、士会のZOOMのIDは2つ契約している。ZOOMは1契約でIDを9つまで保有できるので、18まで

IDが使用できる解釈となる。各局長（8名）および希望する各委員長（最大8名）にIDを付与したい。

質問、意見

- ・セキュリティ上、月に1度パスワードを変更していたが、IDを付与された場合は各局、委員会で運用、管理する形となるのか。
→パスワードは各局、委員会で運用、管理することとなる。
- ・ZOOMは有料アカウントのため、各IDに料金が発生するのでは。2契約ではIDが最大18まで持つという意味で、無料というわけではないのか。ZOOMは適時文言や使い方が変更したりしているので、確認が必要。大学の情報処理センターに確認をして報告をする

結論

- ・無料でIDを最大18まで保有できるようであれば、各局長や各委員長へ付与する。有料だとしても対応できる範囲内の金額であれば、再度審議をする。
3. 承認セミナー・承認症例検討会・参加受付用QRコード使用マニュアルのHP掲示について：生涯学習局
新生涯学習システムの移行に伴い、登録理学療法士が申請するセミナーおよび症例検討会の申請方法、開催時の参加受付のQRコード利用マニュアルを作成した。県士会HPで掲載したい。

質問・意見

- ・QRコードは協会でも利用が増えているが、県士会で別のQRコードを作成、研修会毎にQRコードを変えるという解釈で良いか。→解釈の通り。
- ・参加申し込みが月末としても前月の理事会までとするが原則となるのか
→原則はその通りとする。理事会に間に合えば対応したい。
- ・QRコードに対応できない方もいると思うので、できない方に対する文言も明記して欲しい。当日もQRコードに対応できない方もいると思うので、対処できる工夫・仕組みを作って欲しい
→以前はエクセルに情報を入力する形でもよかったが、協会としては少なくしたい方針がある。確認したい。
- ・症例検討の件数は現在幾つ挙がっているのか
→山梨県士会ではまだ挙がっていない。

結論

- ・HPにマニュアルを掲載する。

4. 生涯学習前期研修の初期研修開催について：生涯学習局

新生涯学習前期研修の初期研修を例年同様に士会理事に依頼して、計6回の講義を開催予定。初回のみ30分拡大して磯野会長に山梨県士会についての講演をして頂く。昨年度は講義時間が1回60分だったが、今年度は90分となり、スライドも指定され

ている。ご協力お願いしたい。

意見

- ・県士会について、何処かで会員に周知をしたいと考えている。去年は事業説明会という形で発信を行った。今年はどうにして発信を行うか。何かの方法で会員へ発信する必要はあると思う。去年の事業説明会は発表者一人の時間配分が短く勿体ない印象を受けた。オンラインになると思うが、検討していきたい。

結論

- ・県士会についての発信は、今後も検討していく。
 - ・今回の初期研修については、案通り進めていく。
5. 山梨県士会主催症例検討会開催について：生涯学習局
- 生涯学習後期研修では、症例検討会の聴講・発表が必須となる。登録理学療法士がいる施設では自施設での開催が可能だが、いない施設では行えないため、県士会主催の症例検討会を開催したい。開催日は調整中。神経系、運動器、内部疾患を各2症例ずつ、1症例30分の計約3時間を予定。座長は登録理学療法士であれば行うことが出来る。神経系は北山副会長、運動器・内部疾患は帝京科学大学と健康科学大学の先生に座長を依頼中。

結論

- ・進めていく。
6. 理学療法士講習会（応用編）について：学術研修局
- 臨床動作分析の講習会を10月22日・23日から1月21日・22日に日程変更をしたい。

結論

- ・承認
7. 県士会事務所の使用許可について：学術大会局
- 県内の学会のために事務所を借りたい。リハーサルで1月中旬ごろに1日、前日準備と当日で2月11日12日の2日間、計3日間の使用許可を頂きたい。

結論

- ・スケジュールに問題なければ、事務所使用申請書を提出することで貸し出し可能。菊池局長へ申請書を送付するので、提出して欲しい。またヤフーカレンダーに入力して各理事に周知して欲しい。

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

- ・認知症対策委員会
 - ①RUN 伴（青空カフェ）イベント報告について、10月22日にやまなしプラザで行った。襷リレーは実施できなくなり、青空カフェに変更。4名で対応し、ロコモチェックだけでなく運動などの相談、理学療法の広報活動も行えた。42名のロコモチェックを行った。
 - ②御坂図書館イベントについて、11月20日の御坂

図書館イベントのポスターを作成したので、士会のHPに掲示したい。3~4名の委員が参加し、ロコモチェックやグッズの配布・軽体操体験を行う予定。

結果

士会HP上へのポスター展示を承認する。

- ③山梨県リハビリテーション専門職団体協議会2022年度第1回山梨県がんリハビリテーション推進委員会の参加報告について、会議は10月1日に開催。2023年2月25日に酒井良忠先生（神戸大学大学院）をお招きして「がん患者におけるリハビリテーションの機能回復のあり方」をテーマに公開講座を行う。また、安藤牧子先生（慶應義塾大学ST）、小林克也先生（山梨県立中央病院OT）、山田洋二先生（石和共立病院PT）を講師に専門職研修を開催する予定。

・災害対策支援委員会

リハ専門職団体協議会災害対策支援委員会の報告について、10月4日にWEBで開催。令和5年3月10日前後に研修会を企画している。内容や講師等は未定。また、山梨県地震防災訓練が7月15日、10月7日に関係者会議が開催され参加した。令和4年度山梨県地震防災訓練が11月6日に開催予定で山梨JRATとして参加する。

・地域支援事業等推進委員会

研修会について、地域推進リーダーフォローアップ研修会を12月15日に磯野賢先生（甲州リハビリテーション病院）、笠井斗志夫先生（北杜市塩川病院）を講師に開催予定。また、地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー導入研修を2月16日、2月22日に秋山侑大先生（あけぼの医療福祉センター）、原田智史先生（石和温泉病院）を講師に開催する。両研修は登録理学療法士でないと参加できない研修となる。新生涯システムのポイント申請を検討している。

質問、意見

- ・推進リーダー研修について、過去の研修では、ケアマネの有資格者や地域理学療法研修の受講者等は参加資格があったが、現在は全く関係ないのか
- この研修はeラーニングの受講が必須となっているが、ケアマネ有資格者はeラーニングの受講が免除される。地域理学療法研修については、確認して報告したい。
- ・県士会主催であるためポイントを付けて良いと思う。
- 今後、ポイント申請の手続きを行う。
- ・特別支援教育委員会
- リハ専門職団体協議会の会議を9月2日、10月3日にWEBで行った。研修会を古屋義博先生（山

梨大学)に依頼して開催する予定。また今後の活動の指針とするため、教職員に対しアンケート調査を実施予定。

・小林副会長

2022 年全国職能関連担当者会議の参加報告について、10月12日に開催された。昨年度と内容は大きな変更はないが、新生涯学習システムが開始され、協会指定管理者・地域ケア及び介護予防推進リーダーの制度に変更があった。

2. 2022 年度都道府県理学療法士会広報担当者会議について：広報局

10月5日に開催され、昨年度の総括と入会促進の広報の取り組みの意見交換を行った。意見として、協会からも入会のメリットを発信して欲しいこと、未入会の方も参加可能な研修会を準備し、その研修会の内容のDVDを作成・配布すること、研修会のアーカイブを作成すること、初年度の会費を無料にして一度は参加しやすいようにすること等の意見が挙げられた。協会は入会促進方法を模索中。

質問、意見

・協会側からもメリットを提示して欲しい。また各局の紹介や、士会で行っていること等を数年ごとに報告し、アーカイブで残しながらHP上でもいつでも見られるような仕組みを今後検討してはどうか。オープンにして見える化することで距離感が近づけるのではないかな。

3. 医療・介護保険部合同研修会事業報告について：福祉厚生局介護保険部

10月19日に開催し41名の参加があった。例年だと3年目以下を優先にした研修会だが、今年度は会員全員を対象とした所、3年以下が2名で6割が11年目以上となった。今年度から「認定・専門理学療法士更新点数」、「登録理学療法士更新ポイント」対象の研修となり、参加人数が増加した。

質問、意見

・研修会離れと言われる中、新生涯システムが始まったこともあり、今後は各局でも研修会参加者の経験年数等を把握して、傾向をみるのはどうか。→研修会後のアンケートで経験年数等を把握するのは良いと思う。

4. 第25回山梨県理学療法士会学術集会の進捗状況について：学術大会局士会学術集会部

一般演題の座長(2名を予定)をHPで募集している。現在1件応募がある。Web開催のため、業者に見積もりを依頼中。

5. 活動について：社会局スポーツ理学療法部

①第74回スポーツ理学療法勉強会について、10月29日にWEBで開催。35人が参加予定。

②東京都理学療法士協会からの研修案内について、

11月21日に清野隼先生(筑波大学)が「スポーツ栄養学について」をテーマに研修が開催される。部員に周知済み。

③令和4年度北杜市スポーツ少年団指導者研修会について、11月26日に指導者及び保護者を対象にテーピングの基礎を内容にした研修会を開催する。

III. その他

・磯野会長より

①事業説明会のような企画をお願いしたい。

→広報局が対応をする。

②研修会後に行うアンケートについて、基本的な部分を統一したい。

→企画局が対応をする。

・小林副会長より

高校生の一日リハビリテーション体験について、2月4日にWEBで開催する。丸茂部長と対応をする。高校生側から実技的な部分を入れて欲しいと要望があった。協会にも動画があるが、何か良い動画はあるか。

質問、意見

・高校生だと難しいかもしれないが、部門ごとの数分間の簡単な説明動画があった方が良いか。

結論

良い動画があれば、小林副会長か丸茂部長へ伝える。

IV. 事務管理局より(有泉局長)

①今後の日程について

11月11日(金)に中間監査、11月22日の理事会で中間監査報告となる。

V. 次回の理事会日程について

日時 令和4年11月22日(火)19:00~

場所 Web会議

連絡 11月18日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。